

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	基本理念の実践と連動した事業計画を基に取り組む等、基本理念の実践に向けて、職員参画で計画的に取り組むことを期待する。	職員全員が理念の意味をしっかりと理解し日々の業務に携わる。	理念についての研修を行い、定期的に業務の振り返りを行う機会を設ける。	6ヶ月
2	8	職員全員が権利擁護に関する制度について一定の知識を持ち、必要な支援が行えるように、学ぶ機会を設けることが望まれる。また、必要な研修項目については、29年度も引き続き計画的に研修を実施することが望まれる。	職員全員が権利擁護や成年後見制度についての知識を持つ。	まずは管理者が、しっかりと知識を持ち職員全員に研修を行う。今後制度が必要となった際に円滑に進められるよう支援する体制を整える。	6ヶ月
3	26	介護計画に基づいたサービス実施が明確になる記録、目標の達成度・評価を明示したモニタリング様式、再アセスメントの様式の工夫が望まれる。また、介護計画見直し時の検討内容や家族・関係者からの意見の集約が明確になる議事録の整備が望まれる。	介護計画に基づいたサービス実施が明確になる記録や目標の達成度・評価を明示したモニタリング様式、再アセスメントの様式の改善をする。介護計画見直し時の検討内容や家族・関係者からの意見の集約が明確になる議事録の整備をする。	記録や評価・モニタリング様式や再アセスメントの様式の改善を図る。介護計画見直し時の検討内容が明確になるよう職員に周知し議事録の整備を行う。	6ヶ月
4	35	昼間想定での訓練と共に、夜間想定での訓練の実施が望まれる。また、自然災害に対しても、具体的な対応を検討し、周知することが望まれる。	夜間想定での避難訓練も行う。自然災害に対しても、しっかりとした対応を検討し職員全員に周知する。	特養と合同で、年2回ある避難訓練のうち1回は夜間想定での避難訓練を実施する。法人全体で行っている防災研修に参加し、職員全員に周知を行い、災害時マニュアルも更新する。	6ヶ月
5	49	季節の外出やプチ旅行など、現在企画中の外出を実施し、外出支援に取り組みれることを期待する。	天気によって左右されることはあるが、出来るだけ外出行事を増やし、利用者様の生活の質を向上させる。また、家族様と一緒にプチ旅行などを計画し家族様との信頼関係も築く。	行事委員が主体となりユニット職員や管理者と相談し、無理な行事計画は立てず、少しずつ外出行事を行っていく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。